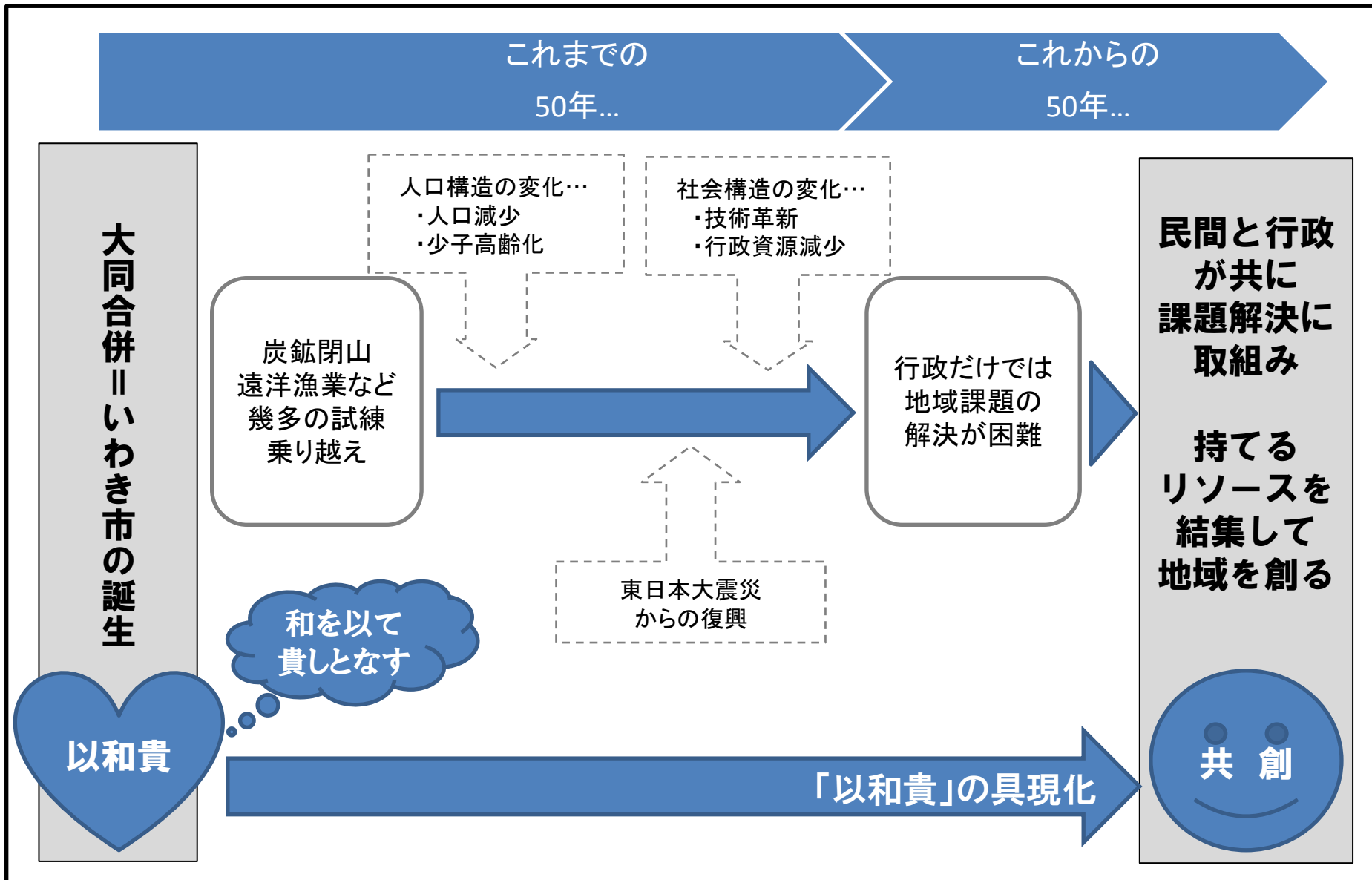


「(仮称)いわき市以和貴まちづくり基本条例」
制定に係る基本的な考え方について

1 条例制定の背景 ～「以和貴」から「共創」へ～



2 条例のコンセプト ～共創のまちづくり～

共創＝地域課題の解決を目指し、市民参画及び連携の下に相互の知恵と資源を結集し、新たな価値を創出すること。

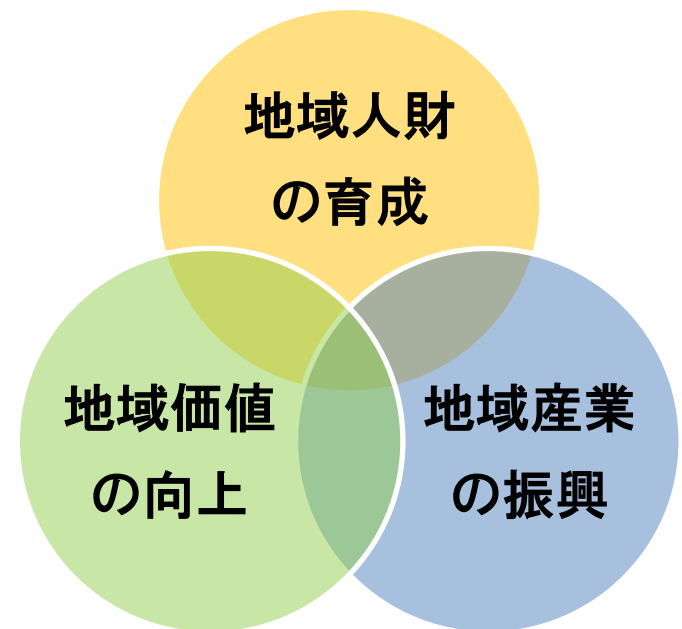
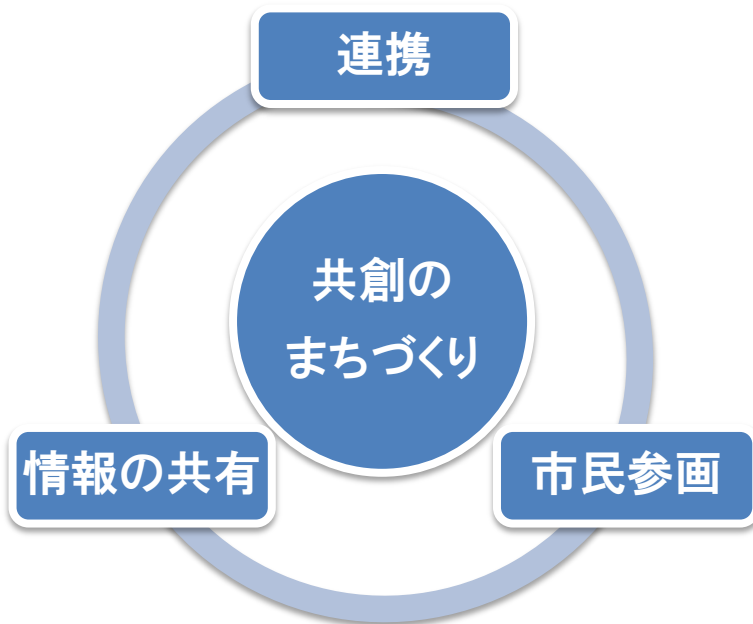
※後期基本計画
「改訂理念」より

「ミッション」と「パッション」を共有した
「コラボレーション」により

- ・情報共有＝課題認識(ミッション)
- ・市民参画＝自分ごと(パッション)
- ・連 携＝相互協力(コラボレーション)

地域の課題解決と
未来につなぐ「ひと・まち・しごと」を創る

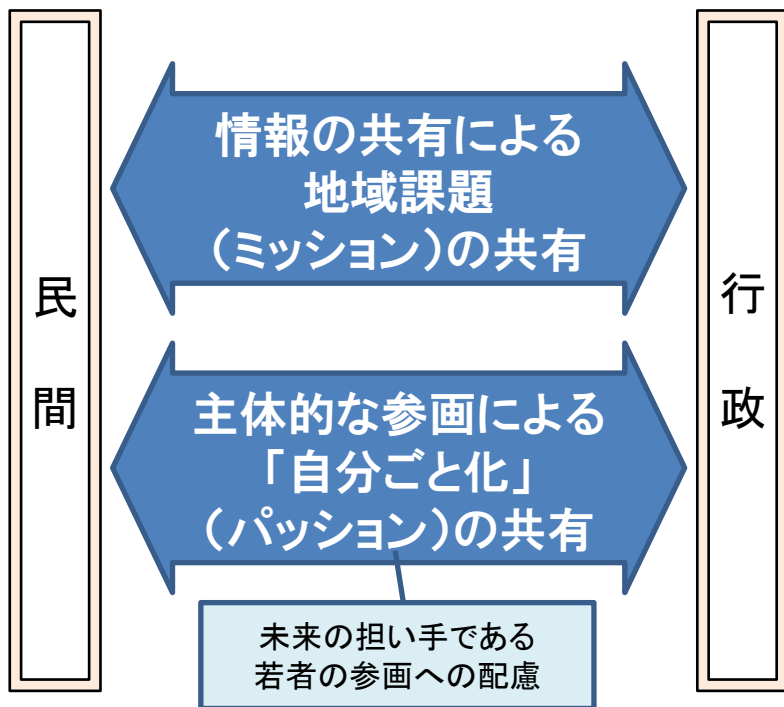
- ・地域人財の育成＝ひとづくり
- ・地域価値の向上＝まちづくり
- ・地域産業の振興＝しごとづくり



3 共創の「手法」 ～一歩進んだ公民連携へ～

情報共有と市民参画

～ミッションとパッションの共有～



連携

～コラボレーション～

相互理解と信頼関係による
市民と市の連携=『チームワーク』

世代や地域を超えた機動的な
市民相互の連携=『フットワーク』

市外のような様々な主体との
広域的な連携=『ネットワーク』

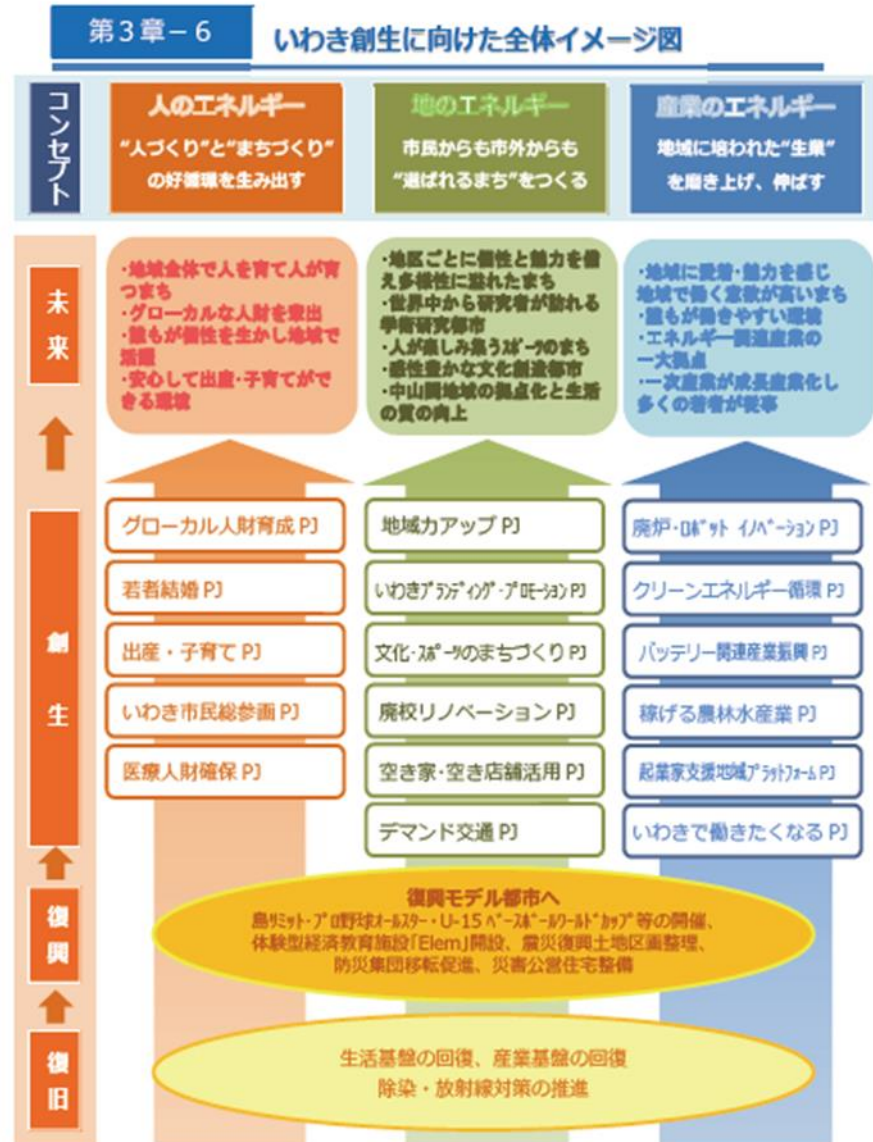
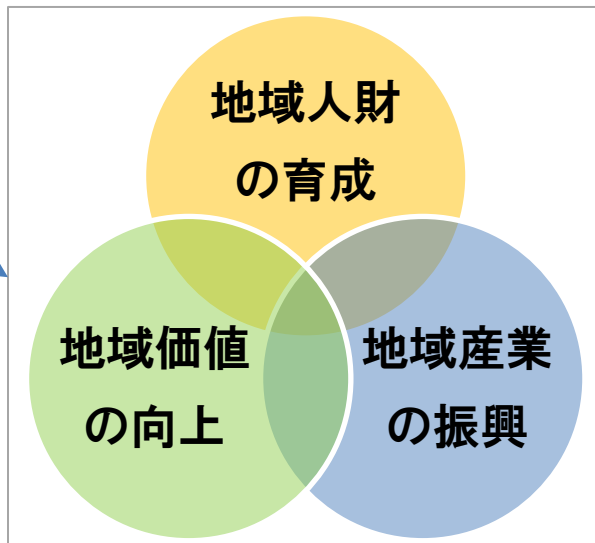
《従来の公民連携》
行政からの課題提示・公募
⇒【行政主導型】

《共創》
公民が課題・資源を共有
⇒【双方向型】

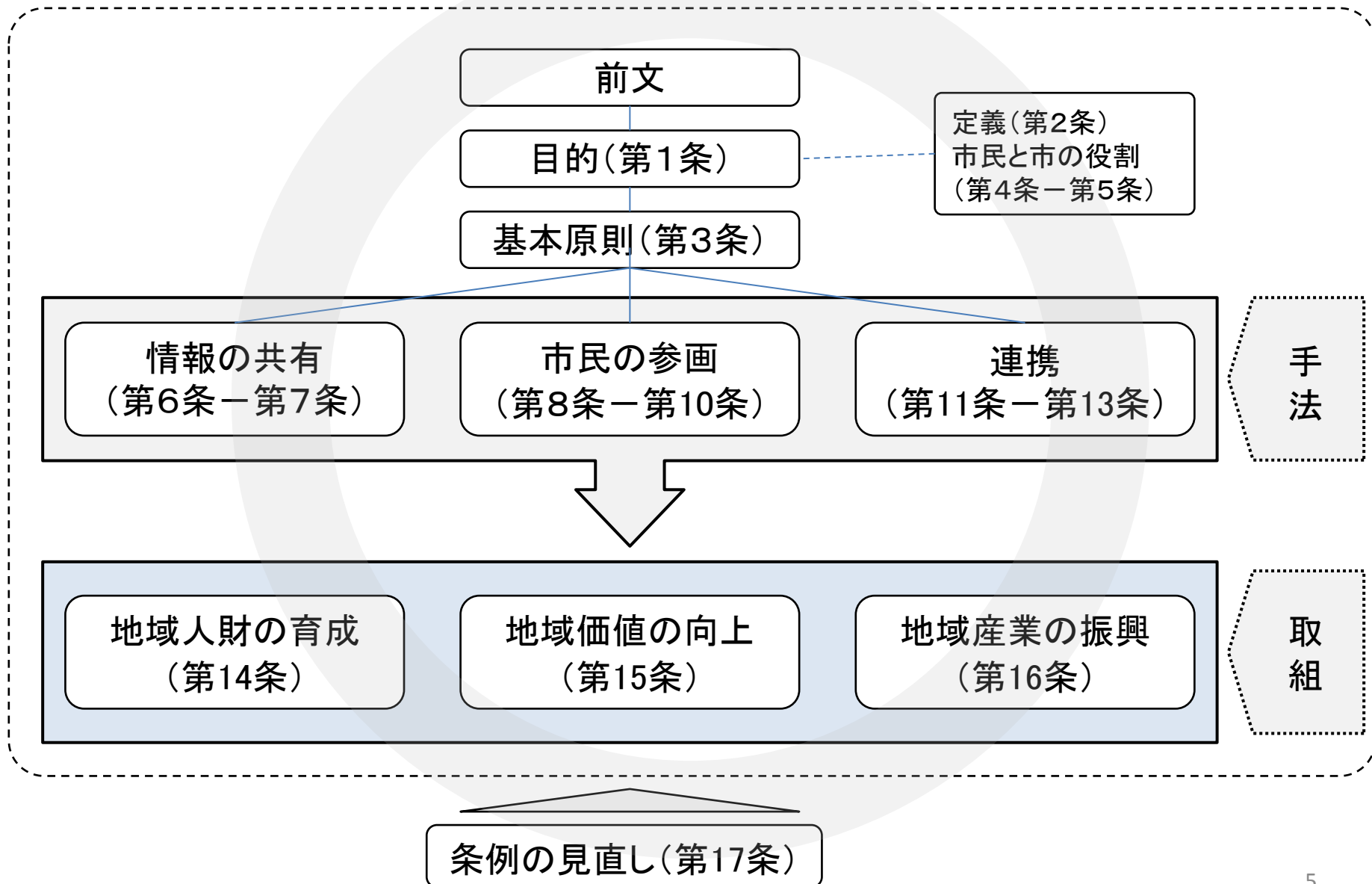
4 共創の「取組み」 ～総合戦略と政策展開～



リンク



5 条文構造



6 条例制定イメージ ～スケジュール～

いわき市のまちづくりの基本となる「戦略」と「計画」を策定するなかで、市内外の様々な方々との意見交換を行い、考え方を反映。

